

2013年 学習会のお知らせ

自閉症児・者の理解と支援の在り方 Part IX

～ いろいろなタイプの事例を通して～

「自閉症の子どもたちとどう付き合っていたらよいのだろうか」「どんな支援を求めているのだろうか」・・・そんな日々の実践上の悩みや素朴な疑問から、私たち教師の学習会（自閉症を学ぶ教師の会）は始まりました。教師の専門性が問われている今、私たちは何をすべきなのでしょうか。

2004年から8回にわたり、自閉症児・者の療育の最前線でご活躍されています、川崎医療福祉大学准教授の諏訪利明氏をお招きし、学習会を開催してきました。同じ悩みを抱えている養護学校や小中学校の先生、幼稚園や大学の関係者、福祉関係者、保護者など、多くの方々に参加していただきました。『自閉症児・者の理解と支援の在り方』を大きなテーマに、毎年サブテーマを設定してきました。過去8年間では、自閉症のしょうがい理解やコミュニケーション支援、自立などについてお話ししていただきました。9回目の今年は、諏訪先生が今までかかわってきた様々な自閉症児者の事例から、個々への支援をどのようにしてきたかを具体的にお話をさせていただきました。日々の実践で悩まれている自閉症の療育にかかわっている方々にも是非、参加頂き、自閉症の支援の仕方についての方向性や見通しがもてる一助になればと思います。このご案内は、学校、福祉施設、保護者など、関係する方々にお知らせしました。諏訪先生と一緒に、今年も学習しませんか。

【日 時】 8月10日（土） 10:00～15:00

昼休み（12:00～13:00）

【場 所】 札幌エルプラザ 3F ホール

札幌市北区北8条西3丁目 Tel 011-728-1222

【日 程】

9:30	10:00	12:00	13:00	14:30	15:00
受付	開会	学習会（講演）	昼休み	学習会（講演）	質疑応答 閉会

【内 容】 発達障がいのいろいろなタイプの事例から、個々のサポートの仕方や発達障がいの特徴などについて話していただき理解と支援の在り方を深める。

【講 師】 川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉科

准教授 諏訪利明先生

〔経歴〕

- 1984 上智大学文学部心理学科卒業
- 1986 上智大学大学院博士前期課程文学部教育学専攻心理コース修了
- 1987 社会福祉法人 県央福祉会 県央療育センター就職
- 1991 同センター 主任
- 1997 同センター 所長
- 2000 神奈川県海老名市立わかば学園園長
- 2012 川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科准教授

〔主なTEACCH関連の研修歴〕

- 1989 朝日厚生文化事業団主催の自閉症児治療教育プログラム（TEACCH）指導者訓練セミナー、東京セミナーに参加
- 1992 ノースカロライナTEACCHプログラム視察旅行参加
- 1993～1994 朝日厚生文化事業団研修生として、ノースカロライナTEACCH Hプログラム第2期研修留学生として、アメリカのノースカロライナ州シャーロットTEACCHセンターにて研修を修める

〔主な著書〕

- 「自閉症療育者～TEACCHプログラムの教育研修～」
財団法人神奈川県児童医療福祉財団
- 「自閉症の人たちへの援助システム～TEACCHを日本でいかすには～」
朝日厚生文化事業団
- 「発達と障害を考える本1 ふしぎだね!? 自閉症のおともだち」
日本発達障害ネットワーク TEACCHプログラム研究会
- 「こんなときどうする 発達障害のある子の支援」 ミネルヴァ書房

【呼びかけ人】 自閉症を学ぶ教師の会

【学習会参加費用として】

1000円（当日会場でお支払い下さい）

【申し込み】

申し込み用紙に記載し、FAX、Eメール、または電話（19：00以降）
でお申し込み下さい。
7月28日（金）必着をお願いします。
定員（約300名）を大きく超えた場合は、電話などでご連絡する場合があります。

申し込み先

奥原 聖子

TEL・FAX 011-893-5399

Eメール okuhara-m@apost.plala.or.jp

※Eメールの際は、①名前（ふりがな）②所属③住所（次年度も学習会があった場合、この案内がほしい方）④電話⑤質問事項(ある場合) を書いてください。

申し込み用紙

(ふりがな)	(ふりがな)
(ふりがな)	(ふりがな)
(ふりがな)	(ふりがな)
(ふりがな)	(ふりがな)
所属（〇を付けて下さい）	教員 ・ 保護者 ・ 施設関係 ・ 学生 ・ その他
所属名（学校名、施設名など）	
住所 〒	電話番号
※次年度も学習会があった場合、この案内がほしい方は記入してください。	
諏訪先生にお聞きしたいことがありましたら、記入してください。	